

DNAで森羅万象を解き明かせ!!

二重らせんがひも解く生命の謎!

2024年8月1日 (木) 13:00-17:30 オンライン開催

主催 一般社団法人 日本DNA多型学会
後援 自然史学会連合、
男女共同参画学協会連絡会
協力 朝日学生新聞社

対象 中学1年～高校3年
参加費 無料!
開催形式 オンライン
定員 250名

事前参加申し込み制

参加申し込みサイトで、必要事項を記入してください。
Zoomに関する情報は、後日直接メールで連絡します。

事前参加申し込み
は
こちらから!



問い合わせ先
東京大学大気海洋研究所
猿渡敏郎
dnapolychuukou@gmail.com

JSDPR

一般社団法人 日本DNA多型学会



プログラム

- 13:00 開会の挨拶
猿渡敏郎 (東京大学大気海洋研究所)
- 13:10 DNAで何ができる?
—作物の品種改良と品種保護—
門田有希 (岡山大学環境生命科学学域 (農))
- 13:50 御蔵島に生息するミナミハンドウイルカの生態調査-DNAから何が見える?—
北 夕紀 (東海大学生物学部)
- 14:30 なぜDNA?魚の系統をめぐるお話。
シラウオを例に
猿渡敏郎 (東京大学大気海洋研究所)
- 15:10 ABO式血液型のDNA研究
—輸血医療から人類の進化まで—
高橋遥一郎 (筑波大学医学医療系)
- 15:50 犯罪現場のDNAは誰のもの?
DNA鑑定と統計学から考える
眞鍋 翔 (関西医科大学法医学講座)
- 16:30 ブレイクアウトルームで講演者との交流
- 17:30 閉会のあいさつ 猿渡敏郎

コンビナー (あいうえお順)

- 北 夕紀 (東海大学 生物)
- 猿渡敏郎 (東京大学大気海洋研究所)
- 高橋遥一郎 (筑波大学 医学医療系)
- 西 健喜 (筑波大学 医学医療系)
- 眞鍋 翔 (関西医科大学)
- 門田有希 (岡山大学環境生命科学学域 (農))